

## 水辺空間活用（舟運）ワーキング 第6回 議事要旨

### 1. 日時・場所

平成 29 年 3 月 28 日（火曜日）午前 10 時～午前 11 時 30 分  
東京都 第二本庁舎 10 階 会議室 207・208

### 2. 委員一覧

別紙 名簿のとおり

### 3. 議題

- (1) 平成 29 年度の取組について
- (2) 意見交換
- (3) その他

### 4. 主な発言要旨

[清水教授（主査）]

- PR ツールのハート型は、新年度あらたな展開は考えているのか。
- 国、都、区がバラバラに PR をしても仕方がないので、PR ツールの連携を「統一すべき」と強く考えている。
- 質をよくするための PR も大事だが、単に PR していくのではなく、動いている船で何が行われているのか、どんな楽しみがあるのかまで考える時期である。また魅力的なコンテンツを設定して、関係者、旅行会社と連携してどのように演出し事業化できるのか考えなければならない。
- 私見としてコミュニケーションスケジュールは1年単位くらいで前倒して計画していかなければ、2020年までに舟運が定着するのは難しいのではないかと考える。
- 新たな航路開発が大事なのもわかるが、分かりやすく目に触れるものや宣伝するものがないと航路だけを PR しても意味がないと考える。利用者は定期便か、不定期便かは見ているだけではわからない。定期、不定期それぞれうまく使いこなすための情報提供も必要である。
- 鉄道、バス等、彼らとの連携も必要かと考える。

[篠原准教授]

- 国、都、区の社会実験をそろそろ統一してほしいと考える。PR のデザインツールについても、国の社会実験と統一をすべきだと考える。
- 東京舟運パートナーズが法人化し一般社団法人水都創造パートナーズとなったが、引き続き東京都と連携して業務を推進して頂きたい。
- 1 区間 500 円ではおよそ採算がとれない金額ではないか。少なくとも赤字の出ない運営をしていかななくてはならない。

- 付加価値の高い楽しい船旅を演出するための具体的な提案が求められている。旅行会社と連携して、相応の単価をいただく企画を検討して販売するなど民間の主体性を高めることを、東京都としても支援していくべきだと考える。

#### [台東区]

- 新たな航路では、浅草から天空橋に行くのに循環航路を使わなければ乗り換えができなくなったが、今後、天王洲経由で浅草と天空橋を結ぶという検討も進めて頂きたい。

#### [江東区]

- 調査結果では被験者が、方向がわからなくなるとあるが、原因としては護岸が高くて街の様子が見えないということが理由か。被験者は地理感覚がないということだが、案内サインの検討では、護岸が高くて見えないということなども考慮して検討を進めてほしい。

#### [大田区]

- 3月25日に大森ふるさとの浜辺公園内の、船着場を含む施設整備の完成記念式典を開催した。
- にぎわい形成としての区の社会実験、大森ふるさとの浜辺公園ではイベントとの連携を考えている。天空橋は周辺状況を踏まえ、順次活用していきたいと考えている。なお、大森ふるさとの浜辺公園のアクセスは京急電鉄平和島駅から徒歩15分ぐらいである。

#### [港区]

- 芝浦港南地区において、平成28年度に橋梁のライトアップの実証実験を実施。
- 平成29年度は芝浦エリア、港南エリア両方の地域特性を踏まえたライトアップ計画を策定。
- 平成30年度には田町防災船着場と品川防災船着場近くの橋でライトアップの実証実験を予定。

#### [旅行協会]

- 9月21～24日 ビッグサイトでツーリズム EXPO ジャパンが開催される。昨年は18万人動員した日本で最大のトラベル博覧会である。9月22日(金)旅行会社のセミナーを有明で開催するので、連動させてセミナーと乗船のセットで乗船体験をするのはいかがでしょうかと考えている。今後、相互協力を相談できればと思う。

#### [建設局]

- 29年度の航路は既存の航路との重複を避け、起点を二天門ではなく両国からと考えている。

- 運航スタートは5月からと書いてあるが、6月と考えている。日本橋からは調整中だが、7月からでなく、月に1回でも5月から始めたいと議論を進めている。
- 「かわてらす」について、配布資料の通り4月14日に江東区清澄でオープン予定である。事業者からの提案で、お店の利用者だけでなく、一般の方でも休憩、散策など気軽に立ち寄れるよう、外部からも直接アクセスできるようにする予定である。近隣の住民の方も呼び込み、水辺の活性化につなげたい。
- 防災船着場の利用料金を改定した。

#### [都市整備局]

- 浅草・二天門船着場についてはモデル地区（サインの検討地区）なので企画航路との連携を通して活用したいと考えている。

#### [港湾局]

- 3月31日に船着場利用料金改訂のプレスリリースを予定。改定後の料金は500円からと検討している。
- 今後、竹芝や有明の一般開放も予定している。

#### [政策企画局]

- 週1回、月1回の運航頻度は少ないと思う。今後、引き続き都として需要喚起策を検討するべきではないか。

#### [事務局]

- PR ツールについては、昨年との連続性を踏まえて、舟運活性化を統合的にはかることを目指して行っていきたい。
- 東京舟運パートナーズの法人化に伴い、社会実験の業務内容自体は契約から変更されることは無い。舟運事業者をはじめとする民間自走化をコーディネートする機関ができたことは、新たな航路創出と民間による自走化を図ることが目的であるこの社会実験の成果として喜ばしいと考えている。今後は、舟運活性化のために当該法人と協力を深めていきたい。
- 質をよくするための船内でのサービスや、PRの部分でどういうイベントと連動した船なのか、船に乗ってどうやってイベントを楽しめるのかという点について、個別的内容だけでなく舟運全体の魅力を上手く丁寧にPRしていくことが重要であると考え。
- 縦断航路はイベントと連携を図りながら最低月1回は運航し、水辺の様々な取組との連動可能性を模索しながら実施していきたいと考えている。
- 浅草から天空橋までは定期航路ができるほどの需要が現時点では見られない。天空橋エリアは今後の近隣開発状況を踏まえて検討を深めていきたいと考えている。

- 今回の調査では地元ではない被験者を採用して調査したが、船着場がどのようなものなのか分からない利用者の方に、わかりやすく案内できるサインを検討していきたいと考えている。
- 循環航路は週に 2 便程度を予定し、最終的には定期航路化を目指したいと考えている。
- 今年度の結果を踏まえて、来年度は運航頻度よりも舟運全体の PR を重視すべきだという結論である。水辺のイベントと連結することで効果が期待できると考える。
- 事業展開の部分では、定期航路の乗船客数、1 社では難しい顧客管理の分析、採算ラインの検討を実験的に取組み、分析結果を舟運事業者にお渡しする。あわせて民間の自主的な事業展開ができるように、船着場管理の方法など都としても各種施策と連動して取り掛かかれるようにすることが社会実験の役割だと考えている。
- 今後、この会議体を発展させて舟運の活性及び水辺空間の有効活用を議論する場づくりを都としても検討していきたいと考えているので、引き続きお力添えを願いたい。

以上

## 水辺空間活用(舟運)ワーキンググループ(第6回)参加者名簿

	役職名	委員名	備考
主査	首都大学東京大学院都市環境科学研究科教授	清水哲夫	
専門アドバイザー	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部観光デザイン学科准教授	篠原 靖	
委員	東京都 政策企画局調整部技術政策担当課長	池田 中	
委員	東京都 政策企画局調整部政策担当課長	池田 庸	代理
委員	東京都 都市整備局都市基盤部物流調査担当	関口 知樹	
委員	東京都 都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長	井川 武史	
委員	東京都 産業労働局観光部観光施策担当課長	原 郁	
委員	東京都 建設局河川部河川管理制度担当課長	高橋 正和	代理
委員	東京都 建設局河川部低地対策専門課長	富澤 房雄	代理
委員	東京都 港湾局港湾経営部監理担当課長	下羅 智宏	
委員	東京都 港湾局港湾整備部環境対策担当課長	小野 正揮	
委員	千代田区 環境まちづくり部 麹町地域まちづくり課長	金子 修	欠席
委員	中央区 区民部 商工観光課長	田中 智彦	欠席
委員	中央区 環境土木部 水と緑の課長	溝口 薫	欠席
委員	港区 街づくり支援部 交通対策担当課長	西川 克介	
委員	港区 芝浦港南地区総合支所 まちづくり担当課長	村上 利雄	欠席
委員	港区 産業・地域振興支援部 観光政策担当課長	重富 敦	欠席
委員	台東区 都市づくり部 都市計画課長	望月 昇	
委員	墨田区 都市整備部 都市整備課長	齋藤 雄吉	
委員	墨田区 産業観光部 観光課長	金子 明	代理
委員	江東区 都市整備部 まちづくり推進課長	草深 玲安	代理
委員	江東区 一般社団法人 江東区観光協会 事務局長	田中 洋二	欠席
委員	品川区 防災まちづくり部 河川下水道課長	和田 淳	代理
委員	大田区 まちづくり推進部 空港臨海部調整担当課長	浦瀬 弘行	代理
委員	江戸川区 土木部 水とみどりの課長	多賀 美代	
委員	日本旅行業協会 関東事務局事務局長	鈴木伸一	
委員	関東旅客船協会 事務局長	西牧秀夫	
委員	屋形船東京都協同組合 理事長	佐藤勉	
委員	東京湾遊漁船業協同組合 理事長	飯島正宏	
委員	東京観光遊漁船協議会 会長	島田誠一	代理